

テレワークの種類	在宅勤務	モバイルワーク	サテライトオフィス	狙い	生産性向上	移動時間短縮	非常時の事業継続	顧客満足度向上	WLB向上	オフィス費用削減	通勤弱者対応	創造性向上	優秀な人材確保	省エネ・CO2対策
	○	○				○			○		○		○	

企業の概要

社名	株式会社システムインテグレータ	都道府県	埼玉県
業種	情報通信業	従業員数	157名 <small>(2017年12月1日現在)</small>
事業概要	自社オリジナルのパッケージソフトおよびクラウドサービスを企画・開発しています。これらの製品・サービスを中心にパッケージ販売やカスタマイズ開発、クラウドサービス、コンサルティングなど、自社製品に特化したビジネス展開を行っています。		

テレワーク実施概要

雇用上の規定	就業規則に規定
テレワーク担当部署	管理部 人事・総務グループ
テレワーク対象者	在宅勤務: 育児・介護事由のある社員 モバイルワーク: 全社員
実施者数	在宅勤務: 5名(通算) モバイルワーク: 状況に応じ実施(全社員)
実施日数	月8回以上12回未満程度(概ね週2~3回)

テレワークの導入・拡大の経緯

【導入】2007年6月、在宅勤務制度を就業規則に規定。

当社は創業から働きやすい職場環境の整備に注力しており、子育てと仕事の両立など多様な働き方を実現し、優秀な人材を確保することを目的に2007年6月に在宅勤務制度を導入しました。また、モバイルワークを活用することで、外出先や移動中など時間の有効活用を促し多様な働き方を実現しています。当社の特徴として、管理職が率先して制度を活用しており、職位や性別にとらわれず、社員が平等に制度を利用できています。その他にも2016年9月にフレックスタイム制を導入し、更に2017年7月にコアタイムを短縮するなど、メリハリのある働き方を推奨することで、仕事とプライベートの両方の充実を促しています。

テレワークの概要・特徴

【制度利用者の声】

■男性管理職の在宅勤務

第二子出生時、在宅勤務を利用した管理職。出産したばかりの奥様のサポートだけでなく、夫婦で育児に取り組みたいとの思いから在宅勤務を利用。社内との連絡手段はテレビ会議、メール、モバイルを活用し、通常と変わらない業務を実現。VPNによりサーバーアクセスも可能であり、業務は問題なく円滑に行うことができた。

今回在宅勤務制度を利用したことで、普段はあまりできなかった育児と家事に率先して取り組むことができ、奥様からも大変好評だったとのこと。男性も育児に参加する時代。このような取り組みが増えることで、働くママさん達の力になればと願っています。



テレワーク導入の効果(経営にもたらした効果、その他効果)

■育児と仕事の両立

育児と仕事の両立に対するサポート体制を整えており、出産した女性社員の産前産後休業、育児休業取得率・復職率ともに100%の実績を誇る。また、男性社員の育児にかかる在宅勤務利用も推奨していることから、夫婦で育児に取り組むことが可能になった。

■優秀な人材の確保

ライフサイクルに合わせた柔軟な働き方が選択できるようになったことで、子育て世代の優秀な人材が安心して働くことができるようになった。また、このような良い環境により、新規採用応募者が増加するなど副次的な良い効果が得られている。

■テレビ会議システム

本社・東京・大阪の3拠点で常時接続が可能であり、業務効率のUPに繋がった。